

■産官学連携等

◇ 産官学連携一覧

協定締結	協定日	連携先	概要
あらかわ満点メニュー開発 支援事業の推進に関する協 定	2006年4月	荒川区（東京都）	区内飲食店のあらかわ満点メニュー開発 「荒川区食と健康のコンサルタント」の委嘱 テイクアウトメニュー「おうち de 満点」メニューの開発
市民の健康づくりに関する 協定の締結	2006年10月	坂戸市（埼玉県）	市内3大学（本学・城西大学・明海大学）と市民の健康づくりに 関する連携協力協定を締結。 坂戸市葉酸プロジェクトを発足し、葉酸入カレー・うどん・パン・ 醤油など商品化
包括的連携協定	2007年1月	独立行政法人 国立女性教育会館	女性人材育成の分野において相互に協力連携し、互いの人的、知 的資源の交流・活用を図り、女性教育の振興に寄与することを目 的とする。
産学連携に関する協定	2006年10月	株式会社埼玉りそな銀行	同銀行の取引企業向けに講演会開催。本学紹介、産学連携事例紹 介、参加企業との懇親会を行う。 「農と食の展示商談会」への出展
健康維持増進分野における 協力体制の構築に関する協 定	2007年7月	株式会社コナミスポーツ&ライフ	高校生マネージャー・アスリートのためのセミナーを共同開催（平 成22年11月～23年1月 5会場）および保健栄養学科栄養科学 専攻スポーツライフサイエンスでの協力など包括的に連携 若葉祭で、スポーツ体験等実施。

産学連携協力に関する協定	2007年7月	株式会社ベルク	<p>同社の販売する栄養バランスの取れたおいしいお弁当のメニュー監修。</p> <p>学食メニューをレシピカード化し店頭で設置配布</p>
豊島区と区内大学との連携・協働に関する包括協定締結	2007年11月	豊島区（東京都）	<p>「街全体をキャンパスに！」をコンセプトに区内7大学と人的、知的、物的資源の交流を図り、教育機能の向上並びに豊かな地域社会の創造を目指すことを目的とする。</p> <p>「人づくり・活動づくり・地域づくりのための総合的な学びの場」を基本コンセプトに各大学の特色を活かした講座を開催する「としまコミュニティ大学」での講座協力。</p> <p>食品ロスに取り組む飲食店等を登録する「豊島区食べきり協力店」に本学レストラン「松柏軒」が第1号店として登録。</p> <p>フードロス削減対策講座の開催。</p> <p>食品ロス削減推進イベントで香川学長が講演</p>
産学連携協力に関する協定	2008年5月	株式会社サンメリー	さかど葉酸ブレッドの共同開発・製造協力
食と健康に関する連携協定	2008年8月	秋田県	<p>「あきた郷土料理教室」を学内で開催。</p> <p>秋田県内へ講師派遣並びに、学内での秋田県派遣講師による学生対象の講座を開催。その他「比内地鶏」メニュー開発や、県立高校（雄物川・秋田北）アスリートへの栄養サポートでも協力。</p> <p>秋田県産食材の産地を見学後、学生が県産食材を使用したメニュー開発も実施。</p>

産官学連携等

胚芽精米の需要喚起及び消費促進に関する協定	2007年11月	株式会社山水食品	新・胚芽米「ビタミネラ」の販売促進のため、リーフレット・HP・テレビ通販等のメディアへの協力等。
産学連携協力に関する協定	2009年1月	株式会社グリーンハウス	健康管理プログラム「アスケン」・健康関連食品開発・食品分析データ、メニューデータの提供等
産学連携協力に関する協定	2009年3月	株式会社日清製粉本社グループ	葉酸を強化した穀類加工食品の実用化に関する技術・関連情報の提供、アドバイス。葉酸が人の健康に及ぼす効果・効能に関する情報提供・アドバイス等。
産学協同開発に関する研究・業務委託契約の締結	2009年9月	株式会社イトーヨーカ堂	同社店舗で販売するバランス弁当・ヘルシー弁当の共同開発。
産学連携協力に関する協定	2010年2月	ハウスウェルネスフーズ株式会社	同社の製造・販売する「葉酸米」の共同開発。
つみれ類商品の共同開発	2010年5月	日本ピュアーフード株式会社	同社の製造販売するつみれ類商品を共同開発。
相互の協力・連携	2010年5月	埼玉県農業大学校	埼玉県農業大学校と女子栄養大学は、相互の学生教育を充実させること、食育の一層の推進とともに、農業教育の振興を図ることを目的とし、連携協定を締結。今後、商品開発等の共同研究、学生交流を推進する。

産官学連携等

食と健康に関する提携協力協定を締結	2010年10月	福井県	「人の交流」「情報の交流」を通じた食と健康に関する提携協力協定を締結。知事講演会をはじめ、カフェテリアにて「福井ランチ」フェアを開催。福井県派遣講師による福井食材を用いた授業も開催。全国福井県高校生食育王選手権大会(第2回:H20年度)より、審査員長として学長が協力。
埼玉県高校教員対象の連携講座を開催	2011年5月	埼玉県教育委員会	連携講座「実践的職業教育推進プロジェクト：サービス力育成分野・教員向け講座」を開催。埼玉県教育委員会主催「アイデア弁当コンテスト」に共催、審査員として協力。
食・健康等に関する包括的な連携	2011年11月	埼玉県	相互協力・連携に関する協定を締結。健康・福祉や農林業などの分野において、包括的、組織的な協力関係を深め、連携を進める。さいたま国際マラソン開催に伴い、『ランナーのための大会直前1週間メニュー』(H27)、サッカー部員のための『アスリート食』(H28)の冊子制作に協力。 食品ロス削減レシピの作成に協力。 「埼玉県SDGsパートナー」に登録(2021年度)
包括的連携協定	2012年4月	イオン株式会社	サラダメニューの開発・お弁当の商品開発等。
産学連携協力に関する協定	2012年4月	川越総合卸売市場株式会社	川越総合卸売市場内にて「食育ショップ」を毎月第2土曜日に開催。 旬の食材を使ったレシピの試食提供、レシピの配布、食材の紹介
相互協力・連携に関する協定	2012年7月	川島町(埼玉県)	健康・福祉・農林業・経済・教育・文化棟の分野において、相互に協力し、豊かな地域社会の形成・発展に寄与することを目的とする。

産官学連携等

相互連携に関する協定	2012年10月	越生町（埼玉県）	地域の資源及び研究成果等の交流を促進し、産業・文化・学術等の分野で相互に連携・協力し、地域の発展と人材育成に寄与することを目的とする。
包括的連携協定	2013年2月	東京都麺類生活衛生同業組合	サラリーマン向け・若い女性向け・シニア向けの麺類メニュー3種類6メニューを開発。都内の組合員店舗で販売。
包括的連携協定	2013年5月	鶴ヶ島市（埼玉県）	食と健康・福祉の推進に関すること」「地域の活性化及び産業の振興に関すること」「環境の保全・創造に関すること」「教育、文化、生涯学習及びスポーツの振興に関すること」「人材の育成に関すること」等について、これまでも様々な取り組みを行ってきた同市との連携をさらに強化。
相互協力・連携に関する協定	2013年7月	嬭恋村（群馬県）	①嬭恋村と大学の人的・知的資源の交流 ②嬭恋村と大学の協働による調査研究及び事業の実施 ③嬭恋村主催又は大学主催の事業に対する相互の協力・支援 ④その他両者が協議して必要と認める事項等に関し締結するもので、同村の地域活性及び村民の健康づくりを支援するとともに、本学主催事業への参加等、相互の交流及び発展を図ることを目的とする。つまごい祭りへの出店協力。 学生への嬭恋高原キャベツの配布。 カフェテリアでの嬭恋高原キャベツを使用したメニュー提供
産学連携包括協力に関する協定	2013年10月	株式会社プロントコーポレーション	「正しい食の知識を広め、食育を通じて豊かな食文化を形成し、社会に貢献する」そして「人々のくつろぎの場、憩いの場を提供する」という本学、同社の願いを実現し、多くの人の健康に寄与することを目的としている。2013年11月より、同社店舗にて共同開発のパスタを販売。

産官学連携等

相互協力・連携に関する協定	2013年11月	久米島町（沖縄県）	①久米島町と大学の人的・知的資源の交流、②久米島町と大学の協働による調査研究及び事業の実施、③久米島町主催又は大学主催の事業に対する相互の協力・支援、④その他両者が協議して必要と認める事項等に関し締結。これまでも、同町での調査・研究活動を行ってきており、今後、より踏み込んだ形での調査・研究活動の実施他、同町の地域活性及び町民の健康づくりを支援することを目的とする。
食と健康に関する連携協定	2013年11月	香川県	食と健康を通じ、お互いの有する人的・物的・知的資源を連携・協力して活用し、相互の活動の進展と地域社会の発展に役立てていくことを目的とする。 カフェテリアでの香川県食材を使った香川県ランチの提供。 若葉祭、駒込祭への出展。
相互協力・連携に関する協定	2014年2月	富士見市（埼玉県）	平成27年度開設予定「(仮称)ふじみ野出張所等多目的公共施設」に設置する「食育推進室」の設計や運営のアドバイス他、「食育推進」「健康増進」「地産地消」「スポーツ推進」「産業振興」等について連携を図り、魅力あるまちづくり、市民の健康維持・増進を図る。地場産物を使用した和菓子の開発に学生が協力、市内3店舗で販売。
連携協力に関する包括協定	2014年3月	北区（東京都）	「食育推進」「健康増進」等について連携を強化し、区民の健康維持・増進に関する取り組みを進める。 北区こどもプログラミングコンテストの審査協力。
産学連携包括協力に関する協定	2014年3月	株式会社東急百貨店	「体の中から健康、美しく」をテーマに、現在と未来の健康に貢献していくことを目的としており、栄養学に基づいたレシピやメニューの開発、講習会の実施など、相互に協力し、提供。
業務委託	2014年4月	全国農業協同組合中央会（JA全中）	同会の運営する「農業・農村ギャラリー」における、国産農畜産物を使用した弁当メニューの開発。

産官学連携等

地域連携協定	2014年6月	毛呂山町（埼玉県）	相互協力のもとに教育、文化、スポーツ、産業、地域振興や環境の保全、安心安全なまちづくり、人材育成にと幅広い分野で互いに協力し、地域社会の形成と発展に寄与することを目的とする。町特産の『桂木ゆず』を使用したレシピ集制作。
人材育成及び研究協力に関する協定	2014年6月	国立保健医療科学院	同学院の研究官を本学大学院客員教授として委嘱し、大学院の授業を担当すること、大学院生の研究指導を科学院で実施し、大学院客員教授として科学院の研究官が研究指導を行う他、相互の研究・教育に関する協力を積極的に行う。
大規模災害発生時における施設の一時使用	2014年7月	西入間警察署	大規模災害が発生した際、同警察署庁舎での業務の遂行と庁舎機能の維持が困難と判断とされた場合、本学が所有する施設の一部を災害活動等の拠点として使用することを定め、災害対策等を遅滞なく推進することとなる。
連携協力に関する包括協定	2014年11月	21胚芽精米推進協議会	胚芽精米の開発と需要喚起、消費促進に関する連携

産学連携包括協力に関する協定	2014年11月	株式会社フジマック	同社製品における「調理マニュアル」・「省エネ」・「労務改善」等での相互協力により、社会への貢献を目指す。
包括的連携協定	2015年1月	神川町（埼玉県）	栄養学のノウハウや学生の発送を、同町の子供たちの健全な成長に不可欠な食育施策などに生かしていく。 「梨レシピ」コンテスト審査員として参加。 「コスモスマつり」に出展協力。
包括的連携協定	2015年2月	鳩山町（埼玉県）	これまでの「食に関する健康づくり事業」等の活動を踏まえ、今後、地域活性化、産業振興、教育、文化等に関しても広くより効果的な事業を展開していく。町特産黒大豆を使用した「鳩豆うどん」のメニュー開発（H28）。

			「はとやま食エコレシंपコンテスト 2020」への審査協力。
健康管理に関する連携協定	2015年3月	三光建設株式会社	「社員及び協力業者の食生活指導」・「社員の家族への食生活指導」・「建設現場での身体活動量の調査」・「勤務中の食環境を調査し、課題に応じての改善策の提案」等を行うことを柱とし、労働意欲の向上と地域社会への貢献を目的とした活動を行う。
産学連携包括協力に関する協定	2015年6月	生活協同組合連合会コープネット事業連合 (現：コープデリ生活協同組合連合会)	「健康」をテーマとした弁当・惣菜商品の開発とあわせ、会員生協での活動や食育コミュニケーションでの社会的発信の強化を目的とする。 同社にて販売する「からだ健やかシリーズ」のお弁当を監修
産学連携包括協力に関する協定	2015年7月	キリン株式会社	相互の情報や知見に基づいた啓発活動プランや大学院との共同研究テーマを定めるなど、「食を通じた健康寿命の延伸」につながる活動を展開し、人々の生活の質の向上と健康を支える社会環境の質の向上を目指す。
連携協力に関する包括協定	2015年7月	株式会社ウエルフェア	埼玉医科大学内のレストランを運営する同社と埼玉医科大学と本学の三者による包括協定を締結。 埼玉医科大学総合医療センター管理棟の竣工に伴い、「健康レストラン鴨田」をオープンし、同時に本学カフェテリアメニューを導入し、「健康ランチ」を提供。
包括的連携協定	2015年10月	ときがわ町（埼玉県）	健康増進や食育のほか、講師派遣、調査、メニュー開発などの取り組みについて連携し、活動を行う。
研修実施に関する協定	2016年1月	東京都教職員研修センター	大学の高度な学術情報や最新の指導理論、優れた施設・設備等の提供により、都内公立学校教員の指導力向上を目的とし、隔年で研修開催の協力。

産官学連携等

包括的連携協定	2016年1月	白岡市（埼玉県）	「食育の推進」「子育て・教育」「スポーツ推進」「産業振興」等の取り組みについて連携し、取り組みを行う。 白岡市食育推進支援業務に協力。 白岡市特産品開発支援業務に協力。
包括的連携協定	2016年4月	川越市（埼玉県）	「食と健康に関すること」「産業・農業・観光に関すること」「環境に関すること」「人材育成に関すること」等について、相互による取り組みを進める。 健康食レストラン川越に係るレシピ開発業への協力
産学連携包括協力に関する協定	2016年5月	西洋フード・コンパスグループ株式会社 (現：コンパスグループジャパン株式会社)	同社の受託運営する社員食堂提供メニューの監修。社員食堂を通じて、利用者の健康管理を行うとともに、栄養管理の研究を行い、人々の健康の維持・増進に貢献する。
産学連携包括協力に関する協定	2016年7月	埼玉縣信用金庫・ (一社)さいしんコラボ産学官	埼玉縣信用金庫・(一社)さいしんコラボ産学官との三者間での協定を締結。 相互に協力し、本学の研究シーズや研究成果等を地域社会へ円滑に還元するとともに、地域社会のニーズに応え、地域経済の活性化に貢献することを目的とする。 さいしん夏休みキッズスクールへの協力
包括的連携協定	2016年10月	市貝町（栃木県）	「加齢と食生活」「発達と栄養」「食品開発」等の取り組みについて連携し、活動を行う。 街の健康増進計画・食育計画の策定、計画推進をサポート
産学連携包括協力に関する協定	2017年2月	カネテツデリカフーズ株式会社	「健康」をテーマとしたメニュー型商品の開発・提供を行う。

包括的連携協定	2017年3月	春日部市（埼玉県）	「食と栄養」に着目した健康づくり事業を展開し、より一層の市民の健康増進を図ることを目的とする。
産学連携包括協力に関する協定	2017年4月	全国きな粉工業会	日本の伝統食品であるきな粉の消費拡大を目的とし、きな粉を使ったメニューの共同開発や食べ方の提案、機能性の側面についても研究等を行う。 7月5日の「きな粉の日」に学食でのきな粉メニューの提供ときな粉の配布
埼玉県民の健康づくりの推進に向けた包括的連携	2017年4月	全国健康保険協会 埼玉支部	栄養学に基づいた食に関する知識を協会けんぽの健康経営・健康づくりの推進の取り組みに取り入れ、加入者の食事改善に生かし、疾病リスクの改善指導に役立てて、健康増進と健康寿命の延伸を図ることを目的とする。 坂戸校舎にて生活習慣病予防の料理教室を活用した特定保健指導のイベントを開催
包括的連携協定	2017年4月	ふじみ野市（埼玉県）	「食と健康に関する事項」「子育て及び福祉に関する事項」「教育、文化、スポーツ及び生涯学習に関する事項」「農業、商工業及び観光に関する事項」「人材育成に関する事項」「その他、目的を達成するために両者が必要と認める事項」等について、取り組みを進める。 「ふじみ野市昭和100年大学」での教員による講演
包括的連携協定	2017年8月	武蔵村山市（東京都）	「食と健康、福祉に関すること」・「子育て及び教育に関すること」・「文化、スポーツ及び生涯学習に関すること」・「農商工業、観光及び環境に関すること」・「人材育成及び学術振興に関すること」・「その他目的を達成するために必要な事項」について、今後両者により取組を進める。 市内温浴施設「かたくりの湯」のリニューアルに際し、施設内レストランのメニューを監修。

産官学連携等

包括的連携協定	2017年10月	三芳町（埼玉県）	「みよし野菜」のブランド化を含め、地域農産物を活用した連携事業や食と健康、教育に関する人的支援等を実施する。 ふるさと納税謝礼品協力事業に関する覚書を締結 三芳町産野菜を使った「みよし野菜癒しのレシピ」のメニュー開発
産学連携包括協力に関する協定	2017年11月	あみ印食品工業株式会社	両者により「食の安全と健康を支える商品作り」を強化することを目的とする。 同社の製造・販売する野菜だし「葉酸生活」を短期大学部が監修。
包括的連携協定	2018年3月	（北海道）十勝総合振興局	北海道十勝地域の活性化に向け、「食の生産現場における人材育成の推進」・「十勝産食材の利活用促進」・「十勝産食材や十勝観光に係る情報発信」等について、相互に連携・協力しながら協働事業を進める。
産学連携包括協力に関する協定	2018年6月	ウエルシア薬局株式会社	「健康」・「食」・「栄養」に関する事項を基本とし、同社に在籍する管理栄養士を対象とした「教育プログラム」の新規導入により、社会ニーズへの対応を強化するとともに、相互の情報交換を通じて、産業や社会の発展に貢献することを目的とする。 同社管理栄養士への教育プログラムの実施 大学監修 大豆まるごとヨーグルトの発売（2019年4月）
包括的連携協定	2018年11月	美里町（埼玉県）	「食と健康に関する事項」 他、両者の協力により町民の健康な生活に寄与する活動を進めていく。
包括的連携協定	2019年1月	三郷市（埼玉県）	「食と栄養」等による市民の健康づくり活動を展開し、市民の健康増進を図るための活動を進めていく。 すこやかみさと朝食レシピの冊子作成

産官学連携等

			フレイル予防の健康レシピ作成事業に協力 乳幼児向けの簡単に調理できる健康レシピの作成
産学連携包括協力に関する協定	2019年2月	栄養食株式会社	同社の請け負う社員食堂等における開発メニューの指導・監修、「スマートミール」認証メニュー等の提供を通じ、社会の健康を積極的に支えることを目的とする。
連携・協働に関する協定	2019年3月	横浜市教育委員会	教員の養成に関すること・教員の資質や能力の向上に関することなどについて連携・協働を推進する。
地場産業の振興等に関する包括連携協定	2019年9月	鴻巣市（埼玉県）・日本薬科大学	本学・鴻巣市・日本薬科大学との3者間連携。それぞれの専門性を活かし、「薬食同源」をキーワードに、鴻巣市の「地場産業の振興」や市内の食生活改善推進員の方々を通じて健康増進活動を進めていく。 鴻巣市販わい創出交流拠点整備事業への協力
包括的連携協定	2019年10月	和歌山県	県民の健康増進や梅・みかんを代表とする豊かな食材による産業振興等、地域社会の発展に寄与する取組を進めていく。 「和歌山県産食材機能性ガイド」の監修。 学園祭での県産農産物・加工品の販売。

産官学連携等

包括的連携協定	2020年2月	東御市（長野県）	<p>本学の人的・知的資源を活用し、食を通じた市民の健康維持・改善に向けた取り組みを進めていく。</p> <p>同市湯の丸高原高地トレーニング施設「GMO アスリーツパーク湯ノ丸」に併設するアスリート食堂でのアスリートに提供する食事の栄養サポートへの協力。</p>
包括的連携協定	2020年9月	東京都健康長寿医療センター	<p>相互の技術相談や共同研究。専門職の人材育成、その他の事業の実施について、相互の緊密・円滑かつ効率的な連携及び協力を図り、健康長寿社会の実現並びに栄養学教育の振興及び発展に寄与することを目的とする。</p>
包括的連携協定	2021年7月	桶川市（埼玉県）	<p>資源の相互活用及び人的交流により、個性豊かで持続可能な地域社会の形成に寄与することを目的とし、市民の健康づくりの推進・人材育成及び学術振興・地域の活性化・生涯学習の推進等の取組を進めていく。</p>
産学連携包括協力に関する協定	2021年10月	株式会社 ヤオコー	<p>健康・食・栄養に関する様々な取り組みを積極的に進め、食産業や地域社会の発展に貢献する。</p>
包括連携協定	2021年12月	久喜市（埼玉県）	<p>「食」と「栄養」の見地から市民の健康増進及び豊かな地域社会の形成と発展を目指す。小・中学校での食育活動の推進、学校給食の献立作成、特産品のブランド化に向けた取組、久喜市版の家庭料理技能検定の実施等を進めていく。</p>
産学連携包括協力に関する協定	2022年4月	株式会社 ヤマノビューティメイトグループ	<p>相互に産学連携の協力を行ない、新たな健康美容の提案や普及に向けて協働を開始し、双方の「栄養」と「美容」をつなげることで、人々が健康で美しく生きるための情報発信や人材育成に取り組んでいく。</p>

産官学連携等

包括連携協定	2022年6月	寄居町（埼玉県）	「食」と「健康」等に関する両者による取り組みにより、住民の健康な生活と地域社会の形成・発展を目指した取組を推進していく。
産学連携包括協力に関する協定	2022年9月	尾西食品株式会社	「健康」・「食」・「栄養」分野の情報や知見を共有し、双方での連携・協力した取組を進め、産業や社会の発展に貢献することを目的とする。商品開発における栄養学的な見地からの協力や非常食・食品分野における技術向上や情報発信等の取組を進めていく。
包括連携協力に関する協定	2023年3月	戸田市（埼玉県）	「食」と「栄養」の見地から市民の健康増進と地域社会の形成・発展を目指し、双方で連携した取り組みを進めていく。学生考案の栄養バランスとおいしさを考えた『すこやか TODA 弁当』を発売。
産学連携包括協力協定	2023年6月	株式会社吉野家ホールディングス	健康・食・栄養の分野で産学連携を図ることにより、「健康的な食事」という目標に向かって、吉野家の商品開発や飲食業における運営ノウハウと本学のアカデミックな食材の栄養価、調理への知見を持ち寄り、健康づくりに役立つ栄養バランスのとれた食事を提案していく。第一弾としてスマートミール認証を取得した本学監修『牛丼 ON 野菜』を発売。
包括連携協力に関する協定	2023年8月	飯能信用金庫	相互に緊密な連携を図ることにより、双方の知見や人脈等を有効に活用した協働による活動を推進し、地域社会の発展及び学生をはじめとする人材の育成に寄与することを目的とする。同金庫取引先企業との連携事業の促進、セミナー開催時の講師派遣、地公体との連携など地域社会の発展に寄与する取組を進めていく。

産官学連携等

産学連携包括協力協定	2023年9月	シダックス株式会社	社員食堂の運営をはじめとする「食と健康」に関するサービスを展開する同社との連携により、「食育」「持続可能で健康な食環境整備」等の情報提供や啓発活動を展開していく。
包括連携協力に関する協定	2024年7月	一般社団法人 日本惣菜協会	双方の知見や人的資源等を有効に活用した協働による活動を推進し、人的交流による新たな「学びの場」の構築、「スマートミール」基準に適合する商品の共同開発、「惣菜産業」を担う人材を育て、活躍の場を創出することなどを目的とする